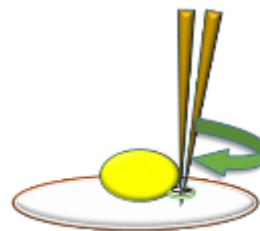


web 版

地協ニュース

ときたまご

令和6年3月13日（水）号
山形市教育委員会 社会教育青少年課発行



児童・生徒が学校運営協議会に参加することで

今年度も児童・生徒が参加しての学校運営協議会がいくつかの学校で行われました。

○11月15日（水） 金井中学校 第2回学校運営協議会

生徒会が学校運営協議会に参加し、「LINEでコミュニケーションを取ることはよいことなのか」というテーマで、委員や教職員、地域住民と一緒に熟議を行いました。山形警察署生活安全課職員の説明の後、グループに分かれて熟議が進められました。各グループでは生活安全課の職員や大学生がファシリテーターとなりました。終了後に参加した生徒から「私たちのことを考えてくれる地域の方がいる」という感想がありました。

○2月7日（水） 大曽根小学校 第3回学校運営協議会

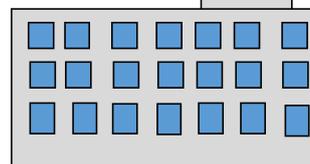
4～6年生の代表の児童が「大曽根地区をより魅力的な町にするには」というテーマで考えたことについて委員に対してプレゼンを行いました。委員から「子どもたちが大曽根地区のことを好きでいることや地区についてよく調べていることが嬉しい」「子どもの豊かな発想を地区のみんなにも聞いてもらいたい」という感想がありました。

○2月26日（月） 第一中学校 第2回学校運営協議会

生徒会会長と副会長が学校運営協議会に参加し、委員と意見交換などの交流をしました。まず、校長先生から生徒に対して「みなさんの意見で学校が動く」というお話がありました。委員から中学生に対して生徒会活動の方針や体操着の色、服装等のきまり、ボランティアについてたくさんの質問がありました。生徒会からは「一中と地域のつながりを深めていきたい」という思いを委員に伝えることができました。

児童・生徒が学校運営協議会に参加することで、学校にとっても、地域にとっても計り知れないほどの効果が生まれたことと思います。子どもが中心に位置付けられている「学校と地域の連携・協働」はとても魅力的だと感じています。

市役所



令和5年度をふりかえって

今年度もたくさんの先生方、推進員の皆様、委員の皆様、地域の皆様が「学校、地域、そして子どもの未来をつくる当事者」として参画してくださいました。おかげをもちまして、山形市の「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進」が、また一歩前進しました。今年度も誠にありがとうございました。

※今年度の実施状況及び成果・課題は次のとおりです。

【学校運営協議会に関すること】

○学校運営協議会の開催数

51校で147回（各校で2～5回実施）

○熟議のテーマ

- ・かがやく〇〇地区の子どもを育む
- ・地域に根ざした教育課程を考える
- ・児童数減少に伴う学校と地域の連携
- ・地域で育む子ども像
- ・子供の成長を核に

など

【地域学校協働活動に関すること】

○地域学校協働活動推進員の配置校数

34校（令和5年度は新規に鈴川小学校、東沢小学校、第八中学校に配置）

○地域住民等の参画者数（令和5年4～2月まで）

5,255人（令和5年4～2月まで）

【社会教育青少年課の取組】

○「地域とともにある学校づくり研修会」の開催

○「地域と学校の連携・協働研修会」の開催

○出前講座の実施

○視察・取材の実施

○地協ニュース「ときたまご」の発行

○地域学校協働活動推進員情報交換会の実施



【成果と課題】

○成果

- ・子どもたちの「地域への愛着」や「地域の担い手としての自覚」の意識の向上
- ・地域住民同士のネットワークの広がりや深まり
- ・地域の教育力の向上
- ・地域の活性化

など

○課題

- ・地域の人材発掘・人材確保
- ・教職員、地域住民、保護者への周知
- ・地域づくりへの活用
- ・必要な情報の不足

など

（各研修会のアンケート及び学校アンケート結果より）